

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2 0 2 5 年 3 月 27 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環 境 ・ 休 制 整 備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	・法令に遵守したスペースを確保している ・活動をグループ分けしている	・動線、少ない指示で主体的に動けるようになると良いと思う ○今後も発達や活動内容に応じてグループ分けをすることで活動しやすい環境整備に努める
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	・指定基準以上の職員配置をおこなっている	・活動内容によってはもう少し職員数が多いと良い
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	・絵カード等を用いている ・発達の特性に応じて環境を整えている ・完全バリアフリーではない	・多少の改善や視覚的な支援が必要 ○パーテーションやマットなどを用いてコーナー分けをしていく予定
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・毎日の清掃は欠かさず、エアコンや空気清浄機は定期的に清掃を行っている ・換気も行い、快適な空間づくりを行っている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	・個別指導室を使用していない時には使用している	
業 務 改 善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	毎日その日の業務の振り返りを職員間で共有している	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	毎日のミーティングと、毎月行われている会議で意見を出し合い、業務に活かしている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6		第三者による外部評価は受けるに至らないが、ガイドラインの各評価項目の基準の達成を目指していく
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	2		・パート従業員の研修の機会が少ない ・事業所内研修の開催や外部の研修にもっと参加が必要 ・外部研修に行く時間がない ○令和7年度より月に一度職員研修日を設け、児童発達についての知識理解を深める研修を行っていく
適 切 な 支 援 の 提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	公表予定（開所1年目のため）	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	・アセスメントの実施、日々の活動の様子をもとに、一人一人に合った個別支援計画書の作成に努めている ・必要に応じてツールを使用している	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	全員ではないが、半年に一回ツールを使用したアセスメントを取っている	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・日々の活動プログラムは全員で意見を出し合って立案している。行事などの企画も療育にあたる職員で会議を行い、立案している	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	季節の行事や製作等を取り入れ活動の幅を広げ内容が固定化しないよう工夫している。その時々の子どもの興味や関心に焦点を当て、プログラムを作成している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	前日に既に行っているので、当日の確認は送迎担当職員以外で行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	毎日必ず行い、共有し、翌日以降の支援に活かしている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	児発管だけでなく必要に応じて保育士・指導員も参加している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	・必要に応じて園に訪問し、連携を行っている ・他事業所と連携をし、会議を行っている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	必要に応じて園に訪問し、連携を行っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	必要な書類の作成は行っている	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	6	0	センターと連携を図り、定期的にスーパーバイズを受け、支援に活かしている	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	0	法人内のこども園、小規模保育園と交流を図り、定期的に一緒に活動をしている	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	5	・支援場面を通じた学びの機会は子育てサポートとして行っている	・ペアレント・トレーニングについては職員の配置が整ったら今後導入していきたい
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・契約、見学の際に行っている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・サービス等利用計画の内容や、事業所独自の聞き取りで要望を聞き取りながら計画書を作成している	

保
護
者
へ
の
説
明
等

非
常
時
等
の
対
応

37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0		
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	家族支援や子育てサポートの機会を設けることで、気になることや不安なこと、心配なことなどをいつでも相談できる環境を整えている	
39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	5		職員の配置等の関係もあり現在保護者会などは行っていないが、今後前向きに検討していきたい
40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・月1回のおたよりの発行 ・SNSを活用し、広く発信している	
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・書類は鍵付きの書庫で行っている ・写真の取り扱いには保護者に承諾を得ている	
43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6	・地域の方に向けたワークショップを2回行った	・今後は地域の方を招待したイベントなどを企画していきたい
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・訓練は定期的に行っている ・玄関にファイリングして掲示している	・緊急時対応フローなどはファイリング以外にも目に見えるところで掲示予定
46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	保護者や相談支援員含めた担当者会議にて服薬、発作などの聞き取りはしているが、予防接種についての聞き取りはしていない	
48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・学校生活管理指導票、投薬指示書、を用いて管理を行っている ・一覧表は非常持出袋の中にも常備している	
49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・年2回事業所内で実施 ・外部の虐待防止研修に代表2名が参加した	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	・現在該当する利用者なし	・対象者がいれば慎重に検討を行い、本人・保護者へ十分に説明の上、支援計画書に記載をする

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名				
○保護者評価実施期間	2025年 1月 17日 ～ 2025年 1月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○従業者評価実施期間	2015年 1月 17日 ～ 2025年 1月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職場の風通しが良く、目標設定と支援の振り返り、活動プログラムの立案に多角的な意見交換ができ、利用児童の特性に応じた支援を行うことが出来ている。	・毎日のミーティングでそれぞれのお子さんの発達課題について徹底共有しています。そのためスタッフ全員が利用児童全員の特性を理解しながら翌日の利用者さんのねらいを把握し支援に取り組んでおります。	・PDCAサイクルで子どもたちの行動や発達を定期的に観察し、評価をすることで支援の方法や内容を常に見直していきます。 ・職員が最新の知識やスキルを身につけられるよう、定期的な研修や勉強会を実施し、支援の質の向上に努めます。
2	同法人内の認定こども園や小規模保育園との交流や、一緒に活動をする機会を設けている。	小規模保育園との合同リズムや、関わりあいながらの集団遊びへの参加を計画的に取り入れております。また、認定こども園の園庭やホールを利用して交流しながら楽しむ機会も設けております。	年間の予定に組みこむなど、定期的に交流の機会が持てるよう、園と連携を図って引き続き継続的に行ってまいります。
3	相談があった場合にはその都度体制を取り対応している。	・面談の設定や子育てや発達に関する相談にのり、必要な情報提供を行っております。 ・利用児童が利用している子ども園や幼稚園へ見学に何うとにも、見学の受け入れも行っています。	・保護者様からの相談を待つのではなく、事業所からも働きかけていくようにします

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	資質向上の機会	・研修時間の確保が難しい。	・来年度より月に1回職員研修の日を設け、児童発達についての知識理解を深める研修を行っていく予定です。
2	保護者会やペアレントトレーニングの開催等	月に1度の家族支援と、必要に応じての子育てサポートを実施し、個別の相談にもすぐに対応できるよう努めております。しかし、土曜が定休日であることや日々の職員数確保の為、保護者様向けのペアレントトレーニングや保護者会の開催に至っておらず、保護者様同士の交流の機会が不十分である。	・ペアレントトレーニング、保護者会については今後実施を検討していきます。
3	地域に開かれた事業運営	・事業所単体での行事が多く、地域の方に向けての開催はしていない。	・地域の方を招待したイベントなどを計画していく予定です。